

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：47

問題あり：6

要確認：3

問題なし：38

詳細な検証結果

1. 固有名詞

磯崎哲史の表記

記載内容：「磯崎哲史」

検証結果：✕誤り

正しい情報：「磯崎哲史」（崎の字が異なる）

根拠・出典：参議院公式サイト・Wikipediaでは「磯崎哲史」と表記されている

生年月日

記載内容：「1969年東京都生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaでは「1969年4月7日、東京都で生まれる」と記載

学歴

記載内容：「東京電機大卒業後」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトでは「平成5年東京電機大学工学部機械工学科卒業」と記載

所属政党

記載内容：「国民民主党参議院議員（比例代表）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaでは「国民民主党所属の参議院議員（2期）」と記載

党役職

記載内容：「2022年から党副代表」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaでは「2022年8月より党副代表」と記載

参議院国会対策委員長の期間

記載内容：「参議院国会対策委員長（2022–2024年）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaでは「12月より参議院国会対策委員長も兼務。2024年10月、参議院国会対策委員長を退任」と記載

2. 数値情報

初当選時の得票数

記載内容：「約27万票を集め党内最多得票（全候補中14位）」

検証結果：△要確認

正しい情報：具体的な得票数の確認ができず

根拠・出典：2013年参議院選挙の詳細データを確認できなかった

児童手当の金額

記載内容：「一律月1万5千円に増額」

検証結果：✓正確

根拠・出典：国民民主党2019年公約では「額も一律で月15,000円に拡大」「対象年齢などにかかわらず一律で月1万5千円を支給する」と記載

家賃補助の条件

記載内容：「年収500万円以下世帯の家賃に月1万円補助」

検証結果：✓正確

根拠・出典：日本経済新聞2019年記事では「家賃補助は年収500万円以下の世帯を対象とする」と記載

高速道路料金の上限

記載内容：「休日上限1,000円、平日2,000円」

検証結果：✓正確

根拠・出典：日本経済新聞2019年記事では「土日祝日は1千円、平日は2千円」と記載

消費税増税時期

記載内容：「2019年10月の8%→10%引き上げ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：一般的な事実として確認

国会発言統計

記載内容：「154回登壇し、発言総文字数は約71万7千字」

検証結果：△要確認

正しい情報：具体的データの確認ができず

根拠・出典：記事内で参考資料として「国会議員白書（菅原琢ウェブ）」が挙げられているが、詳細確認不可

3. その他の重要な事実関係

トリガー条項凍結解除法案の提出時期

記載内容：「2021年末、コロナ禍からの原油高騰でガソリン価格が急騰すると、彼は「いわゆるガソリン税の減税を実現すべくトリガー条項凍結解除法案」を提出」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia・国民民主党ニュースリリースでは「2021年12月6日、国民民主党は日本維新の会と共同で「トリガー条項凍結解除法案」を衆議院に提出した」と記載

政治資金の情報

記載内容：「全トヨタ政治に参加する会」から約1,482万円の寄付」

検証結果：△要確認

正しい情報：具体的金額の確認ができず

根拠・出典：記事内で参考資料が挙げられているが、詳細確認不可

YouTubeチャンネル登録者数

記載内容：「チャンネル登録者数1,500人・動画本数81本」

検証結果：△要確認

正しい情報：現在の正確な数値不明

根拠・出典：時系列での変動があるため確認困難

Twitterフォロワー数

記載内容：「約4,700人程度（2025年6月時点）」

検証結果：✕誤り

正しい情報：現在は2025年6月30日なので未来の数値

根拠・出典：記事執筆時点は2025年6月30日より前のはず

経済産業委員長就任時期

記載内容：「参議院経済産業委員長に就任した2019年以降」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaでは「2019年10月4日、参議院経済産業委員長に就任」と記載

選挙当選回数

記載内容：「2期12年の国会活動」

検証結果：✕誤り

正しい情報：2期目は2019年当選のため、2025年時点では約6年

根拠・出典：2013年初当選、2019年再選のため

国民民主党への入党時期

記載内容：「2020年結党の新・国民民主党（玉木雄一郎代表）に合流し」

検証結果：✕誤り

正しい情報：2021年3月24日に入党

根拠・出典：Wikipediaでは「2021年3月24日、田村麻美、濱口誠と共に（新）国民民主党へ入党した」と記載

一時期の無所属期間

記載内容：「2018年の民進党分裂を経て一時無所属となりました」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaでは「磯崎は無所属で活動することとなった」と記載

改善提案

修正が必要な箇所の一覧

- 漢字表記の統一：「磯崎哲史」→「磯崎哲史」に修正
- 活動期間の修正：「2期12年」→「2期約6年」（2025年時点）
- 入党時期の修正：「2020年結党の新・国民民主党に合流」→「2021年3月に国民民主党へ入党」
- 時系列の整合性：2025年6月時点のデータとして記載されている部分の確認
- 未来の日付：記事内で「2025年6月時点」と記載されている部分の修正

追加確認が推奨される情報

1. **得票数の詳細**: 2013年参議院選挙での具体的得票数
2. **国会発言統計**: 154回登壇、71万7千字の正確性
3. **政治資金の詳細**: 具体的寄付金額の確認
4. **SNS関連数値**: YouTubeチャンネル登録者数、Twitterフォロワー数の最新情報

この記事は全体的には事実に基づいて書かれているが、いくつかの重要な固有名詞の誤りや数値の不正確性が見られる。特に「礒崎」の漢字表記は議員名として最も重要な固有名詞であり、必ず修正が必要である。